



- 1_ 常に仲間と合わせることを意識して練習に励む
- 2_ コミュニケーションがとても大事、一回一回確認を怠らない
- 3_ 一打一打、その一瞬に全力を注ぐ、すべては三冠のため
- 4_ 練習中も、お客さんがいることを意識して太鼓を打つ。いろいろ考えるとリズムが入ってこないの(笑)



Profile : Yamato Miura

- 生まれ / 2005年7月16日、船引町
- 身長 / 181cm、65kg
- 担当 / 副部長・二尺・大太鼓
- 競技歴 / 高校1年から和太鼓を始める
中学時代はバスケットボール部
- 強み / 力強く大きな音を出すこと
- 弱み / 速く細かいリズム
- 将来の夢 / ブーランジェ (パン職人)
- 座右の銘 / 継続は力なり
- 尊敬している人物 / 高柴和乎先輩 (3年前部長)
入部時から、優しく分かりやすく教えてくれた
- 憧れの人物 / 古河琉斗先輩 (3年)
大太鼓での振りや動きがとてもカッコいい
- 趣味 / 筋トレ・ストレッチ
- 好きな食べ物 / パンケーキ

和太鼓部に入部したきっかけ、和太鼓の魅力

中学生の時に、帝京安積の学校案内のパンフレットを見て和太鼓部があることを知りました。中学3年間は委員会で応援団に所属していた、太鼓にふれる機会があり、その経験を生かして新しい挑戦をしてみたいと思い進学・入部を決めました。実際に入部してみると、うまくいかないことも多く、みんなで揃わないと楽曲が完成しないという難しさを実感しています。チーム一丸となって一つの目標に向かって練習していくのが本当に楽しいですし、それが和太鼓の魅力であると感じています。

自分自身の変化

和太鼓部の活動は思っていた以上にハードで、今までにない体の使い方をたくさん使っています。中学時代にバスケットボール部で筋トレをしていたことが生かされているとも思いますが、これまでに使ったことがない筋肉を使って練習に励んで

部員で自作した「天響」

昨年、前部長の高柴和乎先輩が中心となり、オリジナル曲「天響」を制作しました。天響は、静かな海を思わせる前半部から、大きな音を重ねるクライマックスに至る壮大な曲で、今までの帝京安積にはないリズムの曲です。コロナ禍でイベントや大会が少なくなっていて、天まで響くような音を届けて、少しでも元氣になってほしいという思いから制作されました。

和太鼓部での目標

先輩方が借しくも三冠(全

でいます(笑)。太鼓を始めて自分が変わったと思うところは、メンタル面です。もちろん大変なこともありませんが、練習している時など、部員みんなが頑張っている姿を見ると、自分も頑張らなきゃという意識が以前よりも出て、少しは成長できたと感じています。

チームで目標を達成するつもり

和太鼓部では、日ごろから部員同士のコミュニケーションを大事にしています。練習の合間には、部員同士でフィードバックし合ったり、モチベーションが下がらないように会話をしたりするように決めています。それでも大会前には、緊張や焦りで、うまく演奏できず意見も合わなくなり衝突する時があります。実際に昨年12月の「太鼓祭 日本一決定戦」前にはいつもの良い雰囲気も崩れてしまうことがありました。この時には、前部長・副部長が中心となり、チーム統一の目標を再確認し、練習方法を見直し、一度リセットしてから

新しいことに挑戦したい 後輩に向けて

初めて何かに挑戦することは怖いと思いますが、スタートしてみると怖さの中に楽しさが絶対にあると思うので、何かやってみたいとみてほしい。私も中学までやってきたバスケットボールも楽しかったですし、またやりたいと思うこともあります。和太鼓が本当に楽しく満足して活動できているので挑戦してよかったと思っています。

初めて何かに挑戦することは怖いと思いますが、スタートしてみると怖さの中に楽しさが絶対にあると思うので、何かやってみたいとみてほしい。私も中学までやってきたバスケットボールも楽しかったですし、またやりたいと思うこともあります。和太鼓が本当に楽しく満足して活動できているので挑戦してよかったと思っています。

三冠達成へ、さらなる進化に期待
これまでは先輩方がいるのでうまく自分を出せていなかった部分もあると思います。来年度の目標である、三冠を達成するためには、新体制の2年生を中心とした部員の創造力や表現力が必要になってきます。言われたことをやるのはもちろんのこと、そこからの広がりをもっと出して、さらなる活躍を期待しています。



顧問 鈴木 柚香 先生 (和太鼓部 OG)
顧問 坂本 雄一 先生

和太鼓部の精神的支柱へ成長を望む
一言で言うと「真面目」な生徒です。1月に新体制になり副部長を任されていますが、言われたことを一心にやる姿や真っ直ぐに太鼓に打ち込む姿からもその性格が生きていると思います。演奏も今の時点でも大きな音が出ていますが、曲の中で重要なポジションなので、さらに中心となってみんなを引っ張ってほしいです。

一つのことをしっかりやり切ることができるのが大和
副部長として優しく丁寧に後輩に接することができ「大和についていこう」と思われる存在になったと感じます。「天響」の制作中には、自分からしっかりと意見を言うてくれてすごくうれしかった。日本一になり、いろいろな方からの注目がありませんが、誰から見られても、人の心を揺るがすことができる部・人になってほしいです。



3年 古河 琉斗 さん
3年 高柴 和乎 さん

憧れる・尊敬される先輩になってほしい。いや、なれる!
大和は真面目で、誰に対しても優しい人。そして、悔しいときは悔しがり、言いたいことがあればちゃんと言う、自分の思いを真剣に伝えてくれるから、みんなからの信頼があるのだと思います。これまで共に味わった悔しさや喜び・自信を糧に、部を引っ張りながら、大和自身にとっても最高の思い出になる1年にしてほしい。